



平成20年12月9日

各 位

会 社 名 株式会社アパマンショップホールディングス
(コード番号8889 大証ヘラクレス)
代 表 者 代表取締役社長 大村 浩次
本社所在地 東京都中央区京橋一丁目1番5号
問 合 せ 先 常務取締役 石川 雅浩
T E L 03 - 3231 - 8020

「平成20年9月期決算短信」の開示遅延理由及び今後の決算開示に関するお知らせ

当社は、「平成20年9月期 決算短信」の開示が平成20年12月5日付と決算期末後66日での開示となった経緯および今後の開示計画につきまして、あらためまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 「平成20年9月期 決算短信」開示時期の遅延理由について

当社は、平成19年12月12日付に株式会社大阪証券取引所に提出いたしました改善状況報告書に記載のとおり、当初決算期末後45日以内である平成20年11月14日の開示に向けた体制にて決算作業を進めておりました。具体的には、決算チームの新設、連結会計システムの導入、会計専門コンサルティングの活用による決算体制の強化等の決算作業の短縮のための社内体制整備を図ってまいりました。

しかしながら、主に以下の要因・理由により、最終的に「平成20年9月期決算短信」の開示が平成20年12月5日付と決算期末後66日での開示となりました。

①棚卸資産(販売用不動産等)評価の厳格な対応

平成20年11月13日付「当社子会社(AS-SZKi)の第2四半期報告書提出遅延に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、米国のサブプライムローン問題に端を発した今般の金融市場の動揺と不動産取引の停滞を受け、会計監査人との入念な協議を重ねた結果、当社および当社グループにおける棚卸資産の評価をより一層厳格に行う必要が生じました。このため、鑑定評価を複数入手し棚卸資産の評価を厳格化したこと等の理由により、連結財務諸表等の作成作業に予定以上の時間を要することとなりました。

②上場連結子会社の決算数値確定の遅れ

前述の(株)AS-SZKi及び(株)システムソフトの上場子会社2社の決算発表日が以下のとおり遅延したことに伴い、当社連結決算数値の最終確定が2社の確定後となりました。

<(株)AS-SZKi(JASDAQコード1995)>

決算短信開示日 平成20年11月27日*第2四半期決算短信

遅延理由 前述①記載の理由による

関連開示資料 同社 平成20年11月13日付開示

「平成21年3月期第2四半期報告書提出遅延に関するお知らせ」

<株システムソフト(JASDAQ コード 7527) >

決算短信開示日 平成 20 年 12 月 2 日

遅延理由 継続企業の前提に関する重要な疑義を抱かせる事象又は状況の有無の判断およびその解消のための中期計画の策定に関し、会計監査人との協議・精査に時間を要したため

関連開示資料 同社 平成 20 年 11 月 28 日付開示
「平成 20 年 9 月期決算短信の発表遅延に関するお知らせ」
及び 平成 20 年 12 月 2 日付開示
「決算短信の開示時期に関するお知らせ」

③継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況の有無の判断に時間を要したこと

当社「平成 20 年 9 月期決算短信」に記載されている継続企業の前提に関する注記を行う前提となった、特別損失の計上額の精査および短期運転資金の確保に向けての複数の金融機関との交渉・契約締結に相当の時間を要し、会計監査人との入念な協議を重ねたことにより、注記記載の有無の判断に時間を要することとなりました。

2. 今後の決算開示について

当社は、今回の決算開示が遅延したことを厳粛に受け止め、平成 21 年 9 月期第 1 四半期より適用となる四半期開示制度に対応可能すべく、期末後 30 日を目処に、四半期決算短信の開示に向け更なる社内体制整備を進めてまいります。

今回の遅延の最大の要因となった、販売用不動産をはじめとする資産評価については、今期決算において厳密な資産評価により保有不動産や投資有価証券等も時価相当額まで評価を見直し特別損失を計上しております。今回の資産評価の過程において会計監査人とも入念な協議を重ねたことにより、今般のような市況の低迷時期における評価基準も明確になっており、今後の決算作業における評価作業はスムーズに行えるものと判断しております。

また、平成 20 年 9 月期決算作業においても、決算チームの新設、連結会計システムの導入、会計専門コンサルティングの活用による決算体制の強化等により 45 日での本決算開示体制は確立されてきており、連結決算数値の集計作業自体は予定通り順調に進捗していましたが、今期のような資産評価作業への対応を含め、資産評価作業においては決算日前から評価関連資料の整備を行い、決算作業スケジュールの短縮を図るよう更なる改善と決算作業の短縮施策を実施してまいります。

今回の決算開示がこのように遅延したことに関し、株主の皆様をはじめ関係各位の皆様にご心配とご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げますとともに、何卒ご理解・ご支援賜りますようお願い申し上げます。

以 上